

新スタッフ紹介

この春、科学館には新たに3名のサイエンスショー、プラネタリウムを担当するスタッフがいました。早速リニューアルオープンに向けて、一緒に準備を進めています。以下は、3人のスタッフそれぞれの自己紹介です。

はじめまして、木村優斗(きむら ゆうと)と申します。今年の4月に理化担当学芸スタッフになりました。この春までは関西から離れた所で、学生や社会人をしていました。

子どもの頃に「ブラックホールという不思議なものがある!」、「時間がゆっくり進む?」といった相対論の不思議さや物理学者が登場するドラマに惹かれ、学生時代は物理学を専攻していました。そしてブラックホールからエネルギーを引き抜く仕組みや機械学習を使って重力波を見つけ出す方法の勉強や研究をしていました。

物理以外にもウォーキングや映画鑑賞と好きなことがあり、博物館巡りも趣味のひとつです。科学館はもちろん、水族館や美術館へ「どんな展示があるかな?」、「珍しいカニはいるかな?」、「お気に入りの絵は見つかるかな?」と、様々な博物館を訪れています。物理と博物館が好きなことが今の仕事へとつながっています。

科学館のサイエンスショーや様々な活動を通して、みなさんと一緒に科学を楽しみたいと考えています。そのために日々試行錯誤に挑戦し、科学のおもしろさ、どうすればみなさんと一緒に科学を楽しむことができるのかを探求していきたいです。よろしくお願いします!

木村 優斗(科学館学芸スタッフ)



星の輝きで伝えることがある
五藤光学研究所 ■ 全天周デジタル配給作品

MMX

火星衛星探査計画

監督・脚本: 上坂 浩光 ナレーター: 中川 慶一 音楽: 酒井 義久 監修: 白井 寛裕 / 橋 省吾
協力: JAXA 火星衛星探査機プロジェクトチーム 制作・著作: MMX製作委員会
© LIVE / 五藤光学研究所 / 科学技術広報団 / 神戸市立青少年科学館 / ALLSTAFF CO., LTD.

GOTO

はじめまして、4月から理化担当学芸員となりました猪口睦子(いのぐちむつこ)です。こちらに来る前は姫路科学館でプラネタリウム解説をしていました。よろしくお願いします。

私は小さいころから図鑑を読むのが好きでした。中でもさまざまな美しい天体写真に心惹かれ、どのようにしてこうした宇宙の姿ができていったのだろう?と興味を持ち、大学では宇宙物理学を専攻しました。宇宙で見られる不思議な天体現象の謎に迫るうえで、身のまわりで起こる自然現象からひも解かれてきた物理法則がカギとなります。物理法則をうまく組み合わせることで、生活を便利にする道具や機械を作っていくこともできます。身近な生活から遠く離れた宇宙まで、身のまわりのあちこちにひそむ物理・科学の面白さをいろんな人に伝えていきたい!そんな思いから科学館にやってきました。

今夏オープンする新しい展示場での体験や、サイエンスショーをはじめとするさまざまな科学館の活動を通して、目の前で自然現象に触れ、私たちとともに科学を楽しんでいきましょう!お会いできる日を楽しみにしています。

猪口 睦子(科学館学芸員)



みなさん、はじめまして!天文担当学芸員の野村美月(のむら みづき)です。以前は茨木市や熊本市で学芸員として働いていて、2024年4月から大阪市立科学館にやってきました。

この仕事をしているとよく宇宙好きになったきっかけは?と聞かれます。私の場合は「特撮やゲームに登場する宇宙の世界カッコイイ!!」と思い始めた小学生のときに大阪・京都のプラネタリウムと出会って、「投影機カッコいい!お話楽しい!」となり、いつの間にやら宇宙好きになっていました。書き起こしてみると小学生の頃から考えていることがあまり変わっていない気がしてきました…きつとウン十年経っても変わらないのでしょう。

「いつか自分も大阪市立科学館のプラネタリウムの人になるんや…」と思いながら陰からチラチラとコンソールを見ていた私が科学館の学芸員になれたことが今でも信じられない気持ちです。私がプラネタリウムで「楽しい!」と感じたように、今度は自分がたくさんの人に天文学・科学の楽しさを伝えられるように頑張りたいと思います!これから一緒に科学を楽しみましょう! **野村 美月(科学館学芸員)**



大阪市立科学館 <https://www.sci-museum.jp/>

電話:06-6444-5656 (9:00~17:30)

長期休館中(2024年8月1日(木))リニューアルオープン

所在地:〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1

